令和6年度第5回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和7年3月15日（土）

午前9時～午後2時35分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、神委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、一條委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、対馬係長、工藤主事、
比内主事、佐々木主事、吉田主事、山内主事

2 審査方法

（1）一般部門

1 事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

（2）スタート部門

1 事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 3 1 事業中 1 2 事業
採択事業 1 1 事業
不採択事業 1 事業

※スタート部門申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	16	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	上松原町会町会史作成事業		
団体名	上松原町会		

【主な意見】

- ・歴史に残るような大きな出来事だけではなく、そこに暮らした人々の記憶に残っている思い出などを地域の方々から集めてはどうか。昔のことを思い出す過程で、地域に対する愛着がよみがえることもあると思うので、町会の役員を中心とする一部の編集者だけでコンテンツを集めて執筆するのではなく、町会の若い方など、様々な方を巻き込んで実施し、新たな担い手の発掘にもつなげてほしい。
- ・地域の方々から写真を集め掲載し、さらにその写真で写真展を実施したり、これからの町会がこうなってほしいといった意見を聞く機会を設けてほしい。
- ・町会長などが苦労し乗り越えた話をコンテンツとして加えると、子どもたちが地域に愛着を持ち、弘前に関心を持つということにつながっていくと思う。

【審査結果】

合計点 76.5点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合 計		76.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	14	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	親子で楽しむ！月と山との里山体験デイ&ナイト		
団体名	コミュニティスペース月と山と		

【主な意見】

- ・コミュニティスペース「月と山と」で実施するとのことだが、この場所で実施する意味、この場所だからできること、という要素が大切になると思う。事業のコンテンツが市街地でもできるような内容なので、東目屋だからこそできる要素を取り入れて行くことが、この場所を使う意味と価値になると思う。
- ・居場所づくりということなので継続性がすごく大事になると思う。東目屋には地域のことを考えている人たちや学校があるので、団体の活動や居場所の趣旨などを説明し、たくさん子どもたちが普段から気軽に集まれるような場所として発展して欲しい。

【審査結果】

合計点 66.2点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.5
合計		66.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	8	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	富田清水町会組ねふた制作の歴史と伝統の継承事業		
団体名	富田清水町会		

【主な意見】

- ・マニュアルにねふたの組み方等の技術的な事が細かく書かれていても一般の方にはそれほど興味を持ってもらえない可能性があるため、過去の思い出がよみがえるように写真のアーカイブのような内容にすると、貰った方も共感を持って大切にしてくれると思う。
- ・マニュアルの紙面に図や写真を示すだけでなく、マニュアル内のQRコードを読み取ることで動画サイトでねふたを組んでいる様子等を見て学べるような仕掛けに是非チャレンジしてほしい。
- ・元々の弘前ねふたは扇ねふたではなく、組ねふたが発祥なので、是非このマニュアルを各ねふた団体にも配布して、もっと組ねふたが増えるように進めていただきたい。

【審査結果】

合計点 79.3点 $\geq$ 60.0点 , 各項目の平均点 $\geq$ 3点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		79.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	15	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	大沢川環境整備事業		
団体名	大沢町会		

【主な意見】

- ・参加予定の人数が40人となっているが、ハードワークになると思うので、機械の力を使ったり、外からのボランティアを募集したりして作業を行う体制を作っていたらいい。
- ・今年度は町会が実施するが、今後行政とどのように連携して解決していくかということ、市政懇談会などで要望していけばいいのではないかなと思う。
- ・川を整備するだけでなく、整備の場自体を水害が起こった際に連絡を取り合ったり、どのように対応するかを話し合う町民同士の交流の場にする事で、町会にとってすごく重要な活動になると思う。

【審査結果】

合計点 80.5点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		80.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	28	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	岩木 みんなの食堂 ひだまり		
団体名	岩木 みんなの食堂 ひだまり		

【主な意見】

- ・参加されている高齢者の方が調理などにも携わっているということだが、役割があると参加するモチベーションになると思うので、継続していただきたい。さらに、普段祖父母が近くにいない環境の子どもが高齢者の方と交流することで、子どもの成長にもつながるので、理想的だと思う。
- ・寄附金や協賛金については、岩木山商工会に相談するほか、事業のチラシに担い手やスポンサーも募集している旨を記載してみてはどうか。また、随時公募している制度もあるので、情報収集は必要だと思う。
- ・居場所を必要としている方に情報を届けるために、町会の回覧板で周知してはどうか。
- ・情報発信を実施した結果、多くの方から申し込みがあった場合を想定して、受け入れ可能人数についても考えていかなければいけないと思う。スタッフの人数にも活動資金にも限りがあり、また、会場のキャパシティもあると思うので、団体としての計画や目標を立てて、体制の整備も並行して実施していただきたい。

【審査結果】

合計点 77.3点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合計		77.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	12	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動		
団体名	乳井町おこし協力会		

【主な意見】

- ・参加者が少なくもったいないように感じる。もっと魅力を発信して、参加する方が増えてくれればと思う。
- ・自主財源を確保するために、事業の周知にパンフレットやSNSを活用し、それらの媒体に皆さんからの支援をお願いしたいということを書いたらよいのではないか。
- ・近年、インバウンドの方も国内の方も、「コト体験」を求めていると感じている。団体がこれまでウォーキングコースとしても整備してきた場所は、高齢者の健康づくりにも適していると思うので、健康的な食べ物とセットで提供するなど、新しいコンテンツとして売り出すことで、ソフト面での広がりが出るのではないか。その際には、地域のお母さんに料理を開発してもらおうなど、女性や若い世代の方も誘って取り組んでいただきたい。

【審査結果】

合計点 84.2点 ≥60.0点，【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点，
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.5
合計		84.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	30	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	すべての子どもたちにスポーツする機会を 児童のスポーツ活動支援事業		
団体名	特定非営利活動法人 スポネット弘前		

【主な意見】

- ・子どもの数が減り、自由に体を動かす場所も限定されている中で、団体が昔から子どもたちのためにスポーツをする機会を提供していることが段々と結実していると思うので、応援したい。
- ・先生方の働き方改革が推進される一方、部活動の地域移行など様々な課題も生じている中で、団体が声をあげてくれているのが心強いと思う。今回は河西地区を対象とした事業だが、弘前の全ての子どもたちが対象となるよう、今後も頑張っていたきたい。

【審査結果】

合計点 87.6点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.7
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.7
合計		87.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	31	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ひろさき・エンディングノート書き方セミナー実施事業		
団体名	青森エンディングノート推進委員会		

【主な意見】

- ・ 生きている間に処分しておかなければいけないものや相続に関する事など、対応方法も含めて教えていただける窓口になるような活動で、大変ありがたいと思う。一人暮らしの世帯が多いという時代背景からも非常に有意義なので、応援したい。
- ・ エンディングノートの書き方講座とワークショップを1日で実施する予定となっており、両方参加すると所要時間は8時間ということだが、エンディングノートの記入は自分の人生を振り返りながらの作業で、エネルギーと時間を要する内容になると思う。参加者も運営側も大変だと思うので、今後、回数を分けて実施することも検討していただきたい。

【審査結果】

合計点 75.8点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合 計		75.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	24	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	家庭の予防医学 赤本クッキング ～#食べるヒント 私の未来をプロデュース～		
団体名	家庭の予防医学 赤本クッキング		

【主な意見】

- ・若い世代に対し食に関心を持ってもらうことは大事だと思うが、「おしゃれ」や「映え」に重きを置きすぎているのではないか。食は一生続くことなので、自宅でも再現しやすい内容とし、また、事業を継続していききたいということであれば、おしゃれなレンタルキッチンではなく、使用料が安価な公共施設の調理室でもよいのではないか。
- ・事業名や団体名で用いられている「家庭の予防医学」や「赤本」という言葉は、若い世代にあまり馴染まないと思うので、使う言葉を上手く選定した方がいいと思う。
- ・まちづくりの要素を考えたときに、料理の腕を磨きたい方、健康になりたい方が参加するというだけでなく、同じような関心を持つ参加者たちのコミュニティを作っていくというのも大事だと思う。
- ・料理教室では、代表が所属する料理関連の協会が監修したレシピを使用し、新設するホームページでもレシピを紹介するということが、協会のPRにつながるのではないか。また、代表は料理関連のお仕事もされており、ご自身の仕事との線引きも曖昧でわかりづらいので、公益性の観点から、もう少し整理していただきたい。

【審査結果】

合計点 55.1点 <60.0点 , 各項目の平均点 $\geq$ 3点 ⇒不採択

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	4.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	5.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	5.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	5.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	5.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	5.1
合計		55.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	19	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	夏休み親子でワークショップ		
団体名	手作り工房【さーくる】		

【主な意見】

- ・子どもたちが楽しい経験を積む場がたくさんあればいいなと思う一方で、回数が増えると講師や材料が負担になるので難しい一面もある。例えば、昔の懐かしい遊びを親子で一緒に作って遊んでみる体験として、講師を年配の方に担ってもらい、少額の材料費でできる遊びを経験してもらうなど、経費がかかるところを縮小しつつ、多世代交流や親子での交流が実現できるワークショップもあると、より楽しいのではないかなと思う。
- ・有料のワークショップだけでなく、無料のワークショップで年配の方との触れ合いができるようなものがあったらよいのではないかな。

【審査結果】

合計点 70.7点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	6.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.7
合 計		70.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	29	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ぷちこぱん		
団体名	うちの困りごと減らし隊 はぐふあみ		

【主な意見】

- ・令和6年度の事業では数多くの講座を実施されていたが、団体の本当の目的である「仲間づくり」を大事にするため、講座のメニューを敢えて減らしたり、開催時間を見直すなど、目的に沿った形で事業内容を修正しており、素晴らしいと思う。
- ・順調に固定の参加者を集めつつ、盛んに活動している様子がわかった。目的にも共感できるので、今後も頑張って仲間づくりを進めていただきたい。
- ・活動に参加している方々の「自分たちで何かをしたい」という意欲を応援することで、意欲を持った方がさらに活動の中心人物になっていくと思うので、ぜひ今後もそのような声に対して、温かく応援していただければと思う。

【審査結果】

合計点 77.1点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合計		77.1

《審査内容》

一般部門

事業番号	7	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	Sott Sott の居場所		
団体名	Sott Sott		

【主な意見】

- ・居場所を提供しているだけではなく、心理学などの資格を持った専門家の方々が関わっていることで、精神疾患を抱えた方についても対応できる団体であるという点が心強いと思う。
- ・資金が必要な場面も出てくると思うので、協賛や寄附の働きかけを行っていただき、ぜひ資金を確保していただきたい。

【審査結果】

合計点 84.4点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.7
合 計		84.4

令和6年度第5回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和7年3月16日（日）

午前9時～午後0時25分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、
伊藤委員、佐藤（信）委員、神委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、一條委員、
山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、楠美総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、工藤主事、
比内主事、佐々木主事、吉田主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目と同様

3 審査結果

・一般部門	31事業中8事業
採択事業	8事業
不採択事業	0事業

※スタート部門申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	20	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	手作りケア帽子でゆるくがん患者さんを応援!!もっと知ろう乳がんのことを!!		
団体名	ほほえみネットワーク		

【主な意見】

- ・例えばケア帽子を1枚ずつ透明の袋に入れカードを添えて、患者さんからメッセージをいただくことで、作っている方々も頑張ろうという気持ちになり、そこからまた新しいつながりができてくるのではないかな。
- ・患者さんは精神的に弱くなっている部分もあると思うので、例えば団体の連絡先をカードに記載し、患者さんの話を聞くといったつながりが出てくると、活動の幅や質がまた変わってくるのではないかな。

【審査結果】

合計点 85.4点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.6
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.8
合計		85.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	25	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「みんなの食堂」おいでえーる		
団体名	社会福祉法人 千年会		

【主な意見】

- ・参加した高齢者が次の機会には作り手になって参加したり、子どもたちが手伝う等、受け手と支え手の垣根を超えて様々な形で参加できる仕組みが事業の中にコンパクトに入っており、考えられた事業だなと感じる。
- ・ボランティアに関心のある方が事業に参加できるような仕組みづくりは本当に理想的だと思う。
- ・年間の事業計画が細かな所まで考え抜かれていて、すごいと思う。また、事業にいろいろな方を巻き込んで、その方たちに役割を与えるということは、事業をコントロールする側はすごく大変なのだろうと想像するが、それにチャレンジしており、素晴らしいと思う。

【審査結果】

合計点 92.3点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.1
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	9.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	9.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	9.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.1
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	9.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	9.2
合 計		92.3

《審査内容》

一般部門

事業番号	26	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	小さな命を守ろう ニャンちゃん譲渡会		
団体名	弘前保護猫活動連絡協議会		

【主な意見】

- ・一般の家庭では猫1匹を保護するだけでも大変で、様々な不安があると思う。また、地域猫として飼っていくという場合でも、新たな野良猫が生まれてしまった場合など、様々な問題があるので、今後、団体の知名度を向上させて、猫の保護や譲渡の相談先としても対応していただけるようになることを期待したい。
- ・全国の事例を見ると、地域の団体が連携して、施設を借りて365日保護猫を預かり、譲渡につなげているような仕組みができあがっていたりするので、ぜひ他の団体との横のつながりを密にし、今より大きな組織となって活動の幅を広げていっていただきたいと思う。
- ・団体の知名度の向上や活動の幅を広げていくためにも、まずはこの活動を軌道に乗せて、譲渡会を継続して開催していただきたい。

【審査結果】

合計点 79.5点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合計		79.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	1	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「第4回 世界文化遺産 大森勝山遺跡周知事業」		
団体名	弘前縄文の会		

【主な意見】

- ・事業の目的である「大森勝山遺跡の周知」のためには、事業そのものの周知が軸になると思う。前年度参加した方への案内は郵送でしっかり対応されているが、広く多くの方に向けて情報を届けるための周知にも力を入れていただかないと、なかなか活動が拡大していかないと思う。例えば行政や公民館等との連携、関連イベントでのPRなど、様々な方法での周知に積極的に取り組んでいただきたい。
- ・事業を継続するためには、これまで以上に適正な予算計上が必要になってくると思う。例えば、外部講師の講師等謝礼が大きいので、講師を団体で賄うことができるような仕組みづくりや協力者の確保、郵送による案内をメールに切り換えるなど、経費を抑える工夫していただければ、団体の負担が少なくなり、事業の継続にもつながるのではないかと。

【審査結果】

合計点 68.9点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.5
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.1
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.9
合計		68.9

《審査内容》

一般部門

事業番号	2	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	「第14回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」		
団体名	弘前歩こう会		

【主な意見】

- ・イベント直後の口頭でのアンケートの場合、マイナスな事を発言しづらいため、回答形式でのアンケートもあった方が良いのではないかと感じる。
- ・SNSを活用して、インバウンドも含めた多くの方に、この機会にしかできない楽しい体験として付加価値を付けた情報発信をしていくと、より高額な参加費でも、多くの参加が見込める事業になるのではないかと感じる。少し新しいことに取り組んでみたり、アンケートで参加費について聞いてみるなど、試みていただきたい。
- ・参加者の高齢化などにより継続が難しいということであれば、事業の新しい切り口や見せ方に挑戦していただきたい。事業の今後の展開について、若い会員の意見も取り入れたりしながら、団体内でもう少し話し合っていたいただきたい。
- ・旅行パッケージとして取り扱ってもらえないか交渉しても良いくらい楽しい企画だと思う。団体が多方面へPRするのは限界があると思うので、機会があればチャレンジしていただきたい。

【審査結果】

合計点 70.6点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.8
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.9
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		70.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	3	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第5回 武家屋敷の町並み周知事業～武家屋敷で楽しもう～		
団体名	弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会		

【主な意見】

- ・仲町地区の住民の高齢化が進んでおり手入れが行き届かないために荒れている箇所もあるので、所有者のみで取り組むだけではなく、多くの人で守っていきこうという機運の醸成や同じ価値感を持った人たちを集めてコミュニティ作りをしたりなど、実質的に動ける仲間を増やしていただきたい。
- ・事業の周知について観光の面で強く押していきたいということであれば、無料でPRすることには限界があると思うので、予算化してさらに強化していくことが大切になってくると思う。

【審査結果】

合計点 75.8点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		75.8

《審査内容》

一般部門

事業番号	4	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	防災・地域づくり「第8回 西部仲町 自主防災会 防災訓練事業」		
団体名	西部仲町自主防災会		

【主な意見】

- ・他地区からの協力者への謝礼を計上しているが、団体が行うモデル的な取り組みに参加できるのであれば、参加費を払ってでも行きたいという気持ちになると思うので、その方々に謝礼を払う必要性があまりないように思う。
- ・防災器具を運搬するための自動車借上料を計上しているが、実際に災害が起きた際には自動車を使用できない場合も考えられるので、団体が所有しているリアカーで運搬する内容を訓練に含むなどして経費を削減していただきたい。
- ・会場である仲町緑地公園は水害時の避難所ではないなどの問題もあるため、難しいことであるとは思いますがこの場合はこの家に集まる、といったことをあらかじめ皆さんで話し合っておくことができたらよいのではないかと。

【審査結果】

合計点 74.0点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,

【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.9
合 計		74.0

《審査内容》

一般部門

事業番号	10	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第5回 弘前さくら夢 project～小野伸二 サッカー教室		
団体名	NPO 法人 弘前Jスポーツプロジェクト		

【主な意見】

- ・サッカー教室に参加することが刺激になることはもちろんであるが、教室が終わった後にどう感じたのかなど、家族や友人、コーチなどとコミュニケーションをとって話をするとということも大事になってくると思う。実施後にどういう効果があったのかを把握していくことで事業の成果にもつながっていくと思うので、その部分についても考えていただきたい。
- ・講師の都合にもよるが、開催予定日がとても暑い時期なのでスケジュール調整をしつかりと行い、事故の無いよう実施してほしい。

【審査結果】

合計点 78.3点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.5
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合 計		78.3

令和6年度第5回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（3日目）

日 時：令和7年3月17日（月）

午後6時～8時30分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、伊藤委員、
佐藤（信）委員、神委員、三村委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、一條委員、
山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、工藤主事、比内主事、
西谷主事、佐々木主事、吉田主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目と同様

3 審査結果

・一般部門	31事業中6事業
採択事業	6事業
不採択事業	0事業

※スタート部門申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	11	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	第26回未来コンサート（第23回弘前桜の園作曲コンクール含む）		
団体名	弘前桜の園音楽協会		

【主な意見】

- ・令和6年度に実施した作曲ワークショップの募集チラシは、文字が多く、音楽関連のイベントを連想させるようなデザインにはなっておらず、また、対象者もわかりづらいので、デザイン面でもう少し工夫してみてもどうか。
- ・コンサートの協賛について、例えば1口1,000円とし、対価としてチケット1枚を進呈すれば、収入と集客、両方の増加につながると思うので、協賛金の集め方についても今後検討してみてもどうか。
- ・作曲コンクールは、作曲の知識や技能がないと参加しにくいという側面があると思うので、応募する人材の育成にも時間をかけていただきたい。例えば、音楽を作る喜びや面白さをもっと前面に出したり、参加者のレベルに合わせた作曲ワークショップのメニューの設定、音楽指導者向けの説明会やワークショップの開催、作曲ソフトの活用など、人材育成に関する企画をもう少し増やし、様々な方面から下地づくりに取り組んで行くということにも力を入れていただきたい。

【審査結果】

合計点 63.2点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	5.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	6.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.7
合計		63.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	22	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	赤ちゃんも！音楽ファンも！みんなのコンサート		
団体名	アートワールドひろさき		

【主な意見】

- ・個人的に応援したいという方の協賛のお礼として、個人の広告を掲載するというのはなじまないため、年間パスポートはすごくよいアイデアだと思う。他の団体にもこのアイデアを勧めたい。
- ・クラシック音楽だけではなく様々なジャンルの音楽を提供していることから、弘前市民の音楽に関する裾野を広げる効果的な事業であると思う。

【審査結果】

合計点 83.2点 ≥60.0点，【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点，【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.5
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.6
合計		83.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	23	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	poco a poco アートのたまご ワークショップと作品展		
団体名	アートワールドひろさき		

【主な意見】

- ・芸術という一つの分野だけではなく、理科など様々な教科を横断的に混ぜて子どもや大人に提供している企画力が素敵だと思う。
- ・児童館でワークショップを実施することで体験格差を無くそうとしているところが素晴らしいと思う。
- ・ワークショップを実施して終わりではなく、展覧会をセットにしているところが考え込まれた企画であると思う。

【審査結果】

合計点 83.4点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.6
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合計		83.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	21	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ひろさきで学ぶ 芸術歌曲の技と心 2025		
団体名	弘前大学教育学部声楽研究室・ピアノ研究室		

【主な意見】

- ・ 声楽の公開レッスンをコンサートのプログラムに取り入れたり、声楽自体が初めての方にも楽しんでいただけるよう曲の解説や字幕を付けるなど、声楽のプレイヤーとオーディエンス両方を育てる工夫がされたイベントで、かつ、こぎん刺し作家や書道家など、地元の芸術家にも関わっていただけるような仕掛けもされていて、素晴らしいと思う。
- ・ 昨年のコンサートの際に、演奏家と参加者をつなぐきっかけとして演奏家が身に付けていたこぎん刺しのバッチが可愛いので、例えば会場で販売ができれば、来場者にとっては思い出になり、団体としては売上を事業費に充てることができるのではないかと。
- ・ 事業を長く続けるために、協賛金や寄附を集めることも今後検討していただきたい。

【審査結果】

合計点 80.6点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.7
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.3
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合計		80.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	13	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	第十回全日本横笛コンクールおよび弘前ねぷたまつり PR 事業		
団体名	津軽笛地域づくり実行委員会		

【主な意見】

- ・横笛コンクール前日の「PR ねぷた運行」については事前の周知が大切になってくると思うので、マスコミやテレビなどの力を借りて、沿道にたくさんの人が集まる工夫をしていただきたい。
- ・「PR ねぷた運行」を実施する際は、周辺の住民に迷惑にならないようイベント内容や大きい音が出る旨を記載したチラシを作成して、事前に告知を行うほうが良いと思う。
- ・コンクール出場者には8月のねぷたまつりにも参加していただき、出場者や市民との交流を図るということで、コンクール出場者を受け入れていただくねぷた運行団体への謝礼を計上しているが、自由参加できるねぷた団体もあるので、そちらの団体に参加するなど検討してほしい。

【審査結果】

合計点 76.5 点 $\geq$ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3 点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.4
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.7
合計		76.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	9	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	太宰治まなびの家 ドラマリーディング定期公演 事業		
団体名	津軽カタリスト		

【主な意見】

- ・声や声の抑揚から情景を思い浮かべることができるということが団体の一番の強みだと思うので、SNSのショート動画などを使って広報を行ってみてはどうか。
- ・協賛金を集める際は、例えば弘前美術作家連盟など、文化に精通している会に所属している企業に声掛けすれば、賛同してくれる可能性があると思う。

【審査結果】

合計点 77.4点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.7
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.0
合 計		77.4

令和6年度第5回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（4日目）

日 時：令和7年3月18日（火）

午後6時～8時5分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、相馬委員、小山内委員、秋元委員、佐藤（信）委員、神委員、三村委員、佐藤（綾）委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 土岐課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、工藤主事、比内主事、佐々木主事、吉田主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目と同様

3 審査結果

・一般部門	31事業中5事業
採択事業	5事業
不採択事業	0事業

※スタート部門申請なし

《審査内容》

一般部門

事業番号	17	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	「弘前市の大石武学流庭園めぐり」		
団体名	大石武学流庭園調査研究会		

【主な意見】

- ・自宅の庭が大石武学流庭園かどうかわからない方もいると思うので、現状を伺うようなメッセージを付けてどういった問題を抱えているかを把握するアンケート調査を実施したり、その際に団体が開催する講座の案内も併せて行うなど、庭園所有者へのアプローチを今年度からできる範囲で進めていただきたい。
- ・アンケート調査の際に任意団体が実施するとのことで、もし信用を得られないようなことがあったとすれば、文化財課などの協力を得ることも効果的なのではないかと思う。
- ・活動を続けていく上で、例えば維持を希望している所有者の庭の手入れに対する収入や協力者からの寄附によって協議会を発足させることで、調査研究や整備に充てることができるようになるかもしれないと思う。
- ・庭園の所有者全員のニーズに沿うことは難しいと思うので、それぞれ皆さんが何を求めているのかをとらえて事業を実施することで次につながっていくと思う。

【審査結果】

合計点 74.2点 ≥60.0点 , 各項目の平均点 ≥3点 ⇒採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.9
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.1
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.9
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合計		74.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	5	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	楽しいレクゲームやスポーツ鬼ごっこを体験しよう／スポーツ鬼ごっこ交流大会 2025 冬の陣		
団体名	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会		

【主な意見】

- ・今後、団体の構成員を拡大し、その中から審判員やスタッフを出せる形が最も自立に近いと思うため、来年は1人でも構成員が増えるようにご尽力いただきたい。
- ・子どもたちに人気のある競技であり、今後は学校開放がうまく実現し、たくさんの場所で開催されることを期待する一方で、回数が増えるほど審判員の確保に経費がかかることになる。審判員の育成も継続して取り組んでいただきたい。

【審査結果】

合計点 74.4点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 ≥3点 , 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 ≥6点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.3
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.9
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.1
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合計		74.4

《審査内容》

一般部門

事業番号	6	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	子育て・親育ちを楽しむ「運動遊び」と「ママの心とからだのメンテナンス」		
団体名	子育て支援サークル ママーズクラブ		

【主な意見】

- ・新規の参加者が増えないという課題については、どこで何を見て参加しようと思ったのかを参加者に聞き、まとめた意見をもとに周知方法を工夫すれば、同じニーズを持った人たちが参加してくれる可能性があるのでは効果的であると思う。
- ・市内で様々なイベントが開催されている中で、いかにこのイベントに参加してもらえるのか、参加の優先順位を上げてもらえるのかが重要になってくると思うので、例えば、土曜日の開催を一度やってみて平日参加してもらえるような動機づけをしたりなど、試験的にアプローチをしてみてもどうか。
- ・平日の開催は親が共働きの場合、送迎が課題になってくると思う。子どもが行きたいと思っても、親が対応できないことで参加できないということであれば、土曜日や日曜日に開催してみてもどうか。

【審査結果】

合計点 71.5点 $\geq$ 60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3点 ,
 【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.7
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.1
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.6
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.5
合 計		71.5

《審査内容》

一般部門

事業番号	27	審査区分	交付決定回数3回以上の事業
事業名	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題 「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後 454 年祭」		
団体名	和徳歴史探偵団		

【主な意見】

- ・当初の目的である宵宮の活性化や和徳の歴史の伝承に立ち返り、けの汁イベントを復活させ、希薄になった住民同士のつながりをもう一度作ったり、子どもたちへ歴史を教え、伝えていきたいという意気込みが伝わるので、頑張ってください。
- ・今回新たに企画した子どもたちを対象とした和徳歴史クイズ大会のように、子どもたちに歴史を伝える企画をこれからも次々と作って活動していただきたい。

【審査結果】

合計点 74.6 点 $\geq$ 60.0 点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点 $\geq$ 3 点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 $\geq$ 6 点 $\Rightarrow$ 採択 (申請額どおり)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.4
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.4
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.2
合 計		74.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	18	審査区分	交付決定回数0～2回の事業
事業名	ペットも私も守る防災		
団体名	ふれ～ふれ～ファミリー		

【主な意見】

- ・防災をテーマに人を集めることが難しい中、「ペットの防災」というテーマで、防災のことを考えるきっかけづくりとして企画したことがよいと思う。ペットを前面に出しながらも、人間の防災まで意識を高揚させる取り組みがすばらしい。
- ・飼い主に防災知識があっても、受け入れてくれる避難所でどうしたらよいかわからない人が圧倒的に多いと思うので、避難所を運営する方々にも聞いて欲しい内容である。

【審査結果】

合計点 82.0点 ≥60.0点 , 各項目の平均点≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.8
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合計		82.0